

企業物価10%上昇

4月資源高で初の2桁

日銀発表

日銀が16日発表した4月の国内企業物価指数（速報値、2015年平均=100）は113・5となり、前年同月比10・0%上昇しました。プラスは14カ月連続。資源価格の高騰などを背景に、上昇率は比較可能な1981年以降で初めて2桁に達しました。同指数は60年に統計が開始されて以来の過去最高を更新しました。

ロシアのウクライナ侵攻で原油相場は高止まりが続いているが、非鉄金属、穀物

などの国際商品市況も高騰。為替の円安傾向もあり、国内の物価上昇圧力は当面和らぎそうにあります。

企業物価指数は、企業間で取引されるモノの価格を示します。分野別では石油・石炭製品が30・9%、鉄

鋼が29・9%、非鉄金属がない」との見方を示しました。

4月の輸入物価を円ベースで見た指数は、前年同月比44・6%増。最近の急激な円安も影響しました。東京外國為替市場では円相場が一時1ドル=131円台となり、3月から4月初めにかけてのわずか2カ月間で円はドルに対して16円も下

が25・0%と大幅に上昇しました。飲食料品は3・7%上昇。ロシアやウクライナが主要産地となっている銅料などの高騰が響きました。今後、企業がコスト上昇分を最終製品に価格転嫁する動きが広がれば、消費者物価がさらに高まり、家計の厳しさが増します。